

# 会 議 録

## 1 会議名

平成29年度第5回北諏訪区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【自主的審議事項】

地域支え合い事業について（公開）

### 【協議事項】

平成30年度地域活動支援事業について（公開）

## 3 開催日時

平成29年12月21日（木）午後6時30分から午後8時05分

## 4 開催場所

上越市立北諏訪地区公民館

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 白木朝雄（会長）、水上千恵子（副会長）、池田栄一、大舘崇雄、金子栄一、澤海雄一、宮川敏子、室岡由美子（欠席4名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、荒木係長、千田主事  
高齢者支援課：福田副課長、高橋作業療法士長  
共生まちづくり課：佐藤係長  
社会福祉協議会：佐藤係長、白倉主任、喜多山主事

## 8 発言の内容

### 【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【白木会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：室岡委員、池田委員に依頼

**【滝澤センター長】**

議題に入る前に事務局より11月21日（火）に開催された会長会議の内容について報告させていただく。

- ・参考資料「地域協議会会長会議」に基づき説明

**【白木会長】**

それでは議題に入る。

はじめに【自主的審議事項】地域支え合い事業について、事務局へ説明を求める。

**【荒木係長】**

- ・本日の会議の進め方について説明

**【白木会長】**

それでは、担当課へ説明をお願いします。

**【高齢者支援課：福田副課長】**

- ・挨拶

現在、当課では高齢者が住み慣れた地域に必要な介護サービス等を受けながら、できるだけ自分らしく生活できるような地域づくりを進めている。

2025年問題と言われているが、団塊の世代が75歳以上になり、一気に少子高齢化が加速する。それに向けて地域に根差した取組を行っている。

上越市は高齢化が進んでおり、高齢化率が30%超になっていて全国的に見ても高い水準である。ピークは平成33年度と推定されており、高齢者の人口は6万2,000人、高齢化率は33%になる。それ以降は、後期高齢者の割合が増えていく時代が来る中で、どのように地域づくりをしていくのかという部分がポイントになってくると思っている。

我々も「介護予防」という視点から「地域支え合い事業」を始めており、それをきっかけとして地域コミュニティの観点からも活動していただき、活性化に結び付けていただければと考えている。

それでは、担当より資料の説明をさせていただく。

**【高齢者支援課：高橋作業療法士長】**

- ・挨拶

- ・資料No.1 「地域支え合い事業について」に基づき説明

**【共生まちづくり課：佐藤係長】**

- ・挨拶

まず13区についてだが、合併をきっかけとし、区の祭りなどまちづくりを主体的に行っていく住民組織が作られた。「地域支え合い事業」は、13区すべてで住民組織が受託している。コミュニティプラザの受付等を市から受託しているところもある。

合併前上越市については、以前から組織化されているまちづくり振興会やまちづくり協議会が「地域支え合い事業」を受託するケースが多い。そのケースで既に受託しているのは諏訪区及び高土区である。他に、有田区は、「地域支え合い事業」など地域福祉のために「有田福祉の会」という組織を立ち上げて受託し、谷浜・桑取区では、NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部が受託している。

また、来年度から事業に取り組みたいという区もいくつかある。

住民組織への支援についてだが、すこやかサロンに自ら通うことが難しい方々を送迎するための自動車や事務所の備品等を購入したいという場合に、「住民組織活動基盤整備補助金」という補助金制度がある。一度きりの交付になるため、送迎の必要性や申請のタイミング等を考えていただき、補助金制度を活用いただければと思っている。サロン以外にも活用して地域の活性化に結び付けていただきたい。

当課としては、住民組織を作る上で支援できるところはしていきたいと考えているし、どのように住民組織化を進めていけば良いのかということも相談していただければと思っている。

- ・参考資料「住民組織活動基盤整備補助金募集要項」に基づき概略説明

**【社会福祉協議会：佐藤係長】**

- ・挨拶

本日は直接「地域支え合い事業」を担っている立場として、捉えている現状やそこから見えてくる成果等を説明させていただく。

私たちは、すこやかサロン等を担うほかに、当事業をどのように地域に定着させて、どのように住民組織化にしていくかということも大きな仕事として担っている。

本日は、地域のさまざまな活動に向き合っている地域協議会の皆さんに知っていただくことで、今後皆さんと一緒に取組について考え、検討していく第一歩になればと思っている。

本日同席した生活支援コーディネーターである白倉より説明させていただく。

**【社会福祉協議会：白倉主任】**

・挨拶

これまで私が担当した2年間で、北諏訪区の地域の方々との関係性を紡ぎながら活動してきた成果と北諏訪区が持っている地域力となる部分を本日はお示しできたらと思っている。

まず、「地域支え合い事業」の参加者状況についてだが、平成28年度当初は2、3名の参加者で、「楽しかった」と言ってくれるリピーターが毎回参加してくれるという状況の中で粛々と活動を続けてきた。

平成28年4月と平成29年4月を比べると少しずつだが参加者が増え、現在は参加者が2倍くらいに増え定着してきていると感じている。

次に、健康教室で専門の講師による指導の元、運動を行う機会があるが、半年に1回体力測定を行っている。今年の1月と7月に開催したが、参加者のほぼ全員の測定値に向上が見られた。数値の向上が見られなかった参加者へは個別に指導をしていきたいと考えており、検討を進めている。

加齢に伴う運動能力の低下は自然なことではあるが、健康教室やすこやかサロンに参加することにより、体力の低下が緩やかなものになり、機能の維持向上に非常に効果があるものだと立証できたと思っている。

参加者からは「運動の成果が目に見えてうれしい」、「社会交流ができるので楽しみにしている」という声を聞いている。だが、一方で私どもで送迎のお手伝いができないため、「行きたいけど行けない」という声もいただいている。

次に北諏訪地区すこやかサロンの活動報告させていただく。

・資料「北諏訪地区すこやかサロン活動報告」に基づき説明

**【白木会長】**

説明に対し、意見等はあるか。

**【大館委員】**

「地域支え合い事業」について、これから地域協議会で自主的審議を行うが、地域協議会で議論した内容をどう地域に活かしていくのか、具体的な出口に繋げるための方策を出さなくてはならない。ただ、私は、当案件は町内会長協議会で議論をしたほうがいいのではないかと思うので、現段階では、地域協議会でどのような議論をしていけば良

いのかはまだ分からない。担当課の皆さんから北諏訪区地域協議会に求めることがあれば教えていただきたい。

**【高齢者支援課：福田副課長】**

当課では28区で「地域支え合い事業」を展開している。地域の自主運営組織で事業を行ってもらっているところがあるが、最終形としては28区が地域ごとに地域の実情を知った団体から運営してもらおうというのが理想であり、それを目指してやっている。決して全てを地域に丸投げするのではなく、行政と地域が一緒になって住民団体と協力しながら地域の課題を見出していく中で、より良い「地域支え合い事業」を展開できればと思っている。北諏訪区内でもいろいろな声が出ていると思うが、地域協議会でぜひそれを拾っていただき地域の自主運営組織の展開を目標にして取り組んでいけるよう協力をお願いしたい。

**【共生まちづくり課：佐藤係長】**

まずは、住民組織をつくることから検討していただければと思っている。「地域支え合い事業」も人を雇って事業を動かしていくので、受託していただくためにはそれなりの組織が必要になってくる。例えば町内会長協議会や地域で活躍されている住民団体の皆さん、子供会やPTAの皆さん等から入っていただき、地域を支え、盛り上げていくという組織が一番良いのではないかと考えている。「地域支え合い事業」に特化した組織を作って、その組織が将来的にまちづくりを考える会に統合されていくような方法も一つの手法としてあると思う。組織立上げと並行して地域支え合い事業をどのように運営するのかということも検討していただければ理想的である。

**【白木会長】**

町内会長協議会だけではなく、地域協議会委員、民生委員、運動普及推進員、食生活改善推進員等から意見集約すれば良いと思っている。ただ、リーダーシップを取ってくれる人がいれば良いが皆さん尻込みするので、そこが一番難しい。いろいろなところへ声掛けをして「地域支え合い事業」をどのように北諏訪区が推進していくのかという方向付けができれば前へ進むと思っている。地域として話し合いをしていかなければいけない案件なので、地域協議会委員とも協議をし、良い方向付けができればと思う。

**【澤海委員】**

住民組織化については、本日配布していただいた資料だけでは本当に欲しい情報がなく、協議できないと思っている。

13区においては各区に総合事務所があり、市がバックアップして一つの組織を作っていたから作りやすかったのだと思うが、合併前上越市の15区においては、各区に対して示すものが何もない中で「作ってください」と言っても簡単にできるものではない。理想論を言われても駄目なので、例えば、写真や絵が入っている事例集みたいなものを作成していただき、協議しやすいようなかたちを作るなど、1つの団体にどれくらいの予算や人数が必要なのかを示していただきたい。

目指そうとしているものは分かっているが、何故進まないのだろうかという反省が行政の皆さんの中にはなく、工夫も足りないと思うので、本日配布された資料だけでは協議が出来ないと思っている。

**【白木会長】**

澤海委員の意見は正論だと思う。昨年、当地域協議会において、諏訪地区の「諏訪の里づくり協議会」の内山会長と意見交換会を開催し、諏訪区での取組を参考にしたところだが、参考例を示した資料を提示していただければ協議しやすい。

**【澤海委員】**

住民組織ができていない他区の動きはどうなっているのか。特に北諏訪区だけ遅れているのか。

**【高齢者支援課：高橋作業療法士長】**

来年度の「地域支え合い事業」の運営を住民組織化で進めて行こう計画しているのは、金谷区・津有区・和田区・三郷区・新道区であり、現在協議をしている最中である。協議内容は、事業の受託団体としてどこの組織から運営していただくかということをお話し合っており、会則や組織づくり、資金運用、事務所等細かなところの打ち合わせをしている。

**【澤海委員】**

例えば農業関係で「多面的機能支払交付金」という補助金があるが、そこでは活動に基づき事例集を作成している。そういったものがないと、一から実施するのは難しい。

**【高齢者支援課：福田副課長】**

我々のほうでも、住民組織に移行したような実績があるので、まとめたものを皆様へ参考にお示しさせていただきたい。

**【白木会長】**

よろしくお願ひしたい。

審議の進捗により担当課の皆さんから参考資料をいただいたり、協議する場面があったりするかもしれないので御協力をお願いしたい。

当案件は以上で終了とする。

— 高齢者支援課、共生まちづくり課、社会福祉協議会 退室 —

【白木会長】

次に【協議事項】平成30年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・参考資料②「平成29年度地域活動支援事業 北諏訪区の採択方針等について」に基づき説明

【白木会長】

説明に対し意見等はあるか。

【澤海委員】

北諏訪区にある資源を活用したほうが良いのではないかと考えている。例えば、くすみ家族園やクリーンセンターと連携し利用しながら「地域支え合い事業」を行うなど、そうした資源の有効活用について勉強することが必要なのではないかと考えている。

【白木会長】

北諏訪区には寺や神社があり、子ども達も地域の中でいろいろなものを見つけ学習しているようなので、地域協議会としてバックアップできるようなことを見つけて行ければと思う。

【滝澤センター長】

本日配布した参考資料③に、これまで提案された地域活動支援事業を載せたが、事業当初は、市の執行事業として公民館等の公の施設の整備に補助金を活用いただくこともできたのだが、平成26年度からは、市の執行事業は地域活動支援事業から除外し、現在は団体の皆さんが取り組む事業のみとなっている。

今ほどの澤海委員の提案のように何か新しい事業が提案されてくれば良いと考えている。

【白木会長】

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・次回協議会の事務局案：1月23日（火）

【白木会長】

- ・次回協議会：1月23日（火）午後6時30分から
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。